

日本語の文における形式名詞「わけ」の分析
(意味・構造からの一考察)

Ervin Kurniawati

0142002

マラナタ キリスト教 大学

文学部・日本文学科

バンドン

2007

序論

日本語はインドネシア語にないさまざまな特徴を持っている。その一つは形式名詞である。富田(1993 : 6) は、形式名詞というのは格助詞の「が」が付いて文の主語になったり、「を」が付いて対象語になったりして、文法的には名詞と同じ性質を持っています。しかし、その単語だけ独立して使われることはなく、常に、その前の単語について、前の単語にある意味を付け加えるとともに、その単語を名詞化する働きをしていますと言っている。また、富田(1993 : 6) は、形式名詞と呼ばれるものとして「こと」、「もの」、「わけ」などがあると述べている。

例

1. 値段 が 安い からといって、悪いものわけではない。
2. あんな 下手な 絵 が 売れる わけがない。

例1にある「わけ」の意味は「必ずしも～ではない」、例2にある「わけ」の意味は「当然」である。「わけ」には多く意味があるので、それにはどのような意味があるかを研究分析してみるこのにする。

また上記の文でみられうように、例1では「わけ」の後ろに「ではない」がつき、例2では「わけ」その後には「がない」がついている。その理由に基づき、文における「わけ」の文構造も見てみることにする。

本論

I. わけ

松本 (1993 :31) と小林 (1995 : 123) は、「わけ」の意味は「筋道」や「理由」であると述べている。その例として、次のものを挙げている。

例

1. (59) さて、春先になって、マスクとサングラスをかけた日本人が急に増える わけ が分かってもらえただろうか？(NCD, 1992 : 45)

この文にある「わけ」は動詞「増える」の辞書形のあとに付き、「理由」を表している。この文において、作者は読者に「春先になって、マスクとサングラスをかけた日本人が急に増える理由が分かりましたか」と聞いているのである。

II. ~わけだ

田中 (1997 : 64) と高西 (1987 : 127) は「わけだ」の意味は「理由があるから、そうなるのは当然だと言いたい時に使う」と述べている。その例として、次のものを挙げている。

例

2. (25) お客はどんどん出ていくからコーヒーがたくさん売れる わけ である。(SN, 1990 : 54)

この文にある「わけ」は動詞「売れる」の辞書形のあとに付き、「当然の結果」の意味を表している。

III. ~わけがわからない

松本 (1993 : 33) は「~わけがわからない」の意味は「頭が混乱して、全然理解できない。」であると述べている。その例として、次のものを挙げている。

例

3. (52)ちよつとのあいだ、ピーターには、わけがわかりませんでした。(Narnia, 2006 : 155)

この文にある「わけがわかりません」は「頭が混乱して、全然理解できない」という意味を表している。

IV. ~わけがない

高西 (1987 : 127) と田中 (1997 : 24) は「~わけがない」と「~わけはない」の意味は「~ (の) はずがない」であると述べている。その例として、次のものを挙げている。

例

4. (19)あいつがあんなに早いわけないぞ。(Doraemon, 1986 : 71)

この文にある「わけ」は形容詞「早い」の辞書形のあとに付き、「~はずがない」という意味を表している。

V. ~わけではない

高西 (1987 : 128) と田中 (1997 : 64) には「~わけではない」と「~わけでもない」の意味は「特に ~ ではない、必ずしも ~ ではない」であると述べている。その例として、次のものを挙げている。

例

5. (26)そんなに便利なカードであるが、問題がないわけではない。(SN, 1990 : 140)

この文にある「わけではない」は動詞「ある」の否定形の「ない」のあとに付き、「~必ずしも~ではない」という意味を表している。

VI. ~わけにはいかない

高西 (1987 : 128) と田中 (1997 : 25) は「~わけにはいかない」と「わけにもいかない」が動詞の辞書形や過去形や「ている」形にしか付かない。

「~わけにはいかない」は「理由があって、~できない」という意味を表している。その例として、次のものを挙げている。

例

6. (62)「ごめんね。ここはアパートだから、お前を飼うわけにはいかないわ。でも、餌ぐらいなら、少しあげるけど。。。」(NCD, 1992 : 65)

この文にある「わけ」は動詞「飼う」の辞書形のあとに付き、「~できない」という意味を表している。

VII. ~ないわけにはいかない

高西 (1987 : 128) と田中 (1997 : 25) には「~ないわけにはいかない」は動詞の後にしか付かず、「~しなければならない」という意味を表している。その例として、次のものを挙げている。

例

7. (31) ふたりもここへきたんだから、こんどこそほかの人たちも信じないわけにはいかないものね。(Narnia, 2006 : 54)

この文にある「わけにはいかない」は動詞「信じる」のナイ形のあとに付き、「~しなければならない」という意味を表しているのである。

結論

日本語の文にある形式名詞「わけ」の用法は次の通りである。

1. ~わけ
 - 意味：理由
2. ~わけだ
 - 構造：
 - i. 動詞 普通形 + わけだ
 - ii. 動詞 + て + いる + わけだ
 - iii. 形容詞 普通形 + わけだ
 - 意味：当然・結果
3. ~わけがわからない
~わけのわからない
 - 意味：頭が混乱して、全然理解できない
4. ~わけがない
 - 構造：
 - i. 動詞 普通形 + わけがない

- ii. 動詞 + て + いる + わけがない
 - iii. 形容詞 普通形 + わけがない
 - 意味： ~はずがない
5. ~わけではない
- ~わけでもない
- ~わけさえない
- 構造：
 - i. 動詞 普通形 + わけではない
 - ii. 動詞 + て + いる + わけではない
 - iii. 形容詞 普通形 + わけではない
 - 意味： 特に ~ではない, ~必ずしも ~ではない
6. ~わけにはいかない
- ~わけにもいかない
- 構造：
 - i. 動詞普通形 + わけにはいかない
 - ii. 動詞 + て + いる + わけにはいかない
 - 意味： 不可能
7. ~ないわけにはいかない
- 構造：
 - i. 動詞ナイ形 + ないわけにはいかない
 - 意味： ~しなければならない

DAFTAR ISI

KATA PENGANTAR.....	i
DAFTAR ISI.....	iii
BAB I PENDAHULUAN.....	1
1.1 Latar Belakang Masalah.....	1
1.2 Rumusan Masalah.....	4
1.3 Tujuan Penelitian.....	5
1.4 Metode dan Teknik Penelitian.....	5
1.4.1 Metode Penelitian.....	5
1.4.2 Teknik Penelitian dan kajian.....	6
1.5 Organisasi Penulisan Skripsi.....	8
BAB II KERANGKA TEORI.....	9
2.1 Semantik.....	9
2.2 Sintaksis.....	10
2.2.1 <i>Doushi</i>	14
2.2.2 <i>Keiyoushi</i>	15
2.2.3 <i>Meishi</i>	16
2.2.3.1 <i>Keishikimeishi</i>	17
2.3 <i>Keishikimeishi</i> わけ (<i>wake</i>).....	19
2.3.1 ~わけだ (<i>wake da</i>)	19
2.3.2 ~わけがわからない (<i>wake ga wakaranai</i>).....	21

2.3.3	~わけがない (<i>wake ga nai</i>).....	22
2.3.4	~わけではない (<i>wake dewanai</i>).....	23
2.3.5	~わけにはいかない (<i>wake ni wa ikanai</i>).....	24
2.3.6	~ないわけにはいかない (<i>~nai wake ni wa ikanai</i>).....	25
BAB III	ANALISIS PENGGUNAAN <i>KEISHIKIMEISHI</i> わけ (WAKE) DALAM KALIMAT BAHASA JEPANG.....	26
3.1	わけ (<i>wake</i>).....	27
3.2	~わけだ (<i>wake da</i>)	31
3.3	~わけがわからない (<i>wake ga wakaranai</i>).....	35
3.4	~わけがない (<i>wake ga nai</i>).....	38
3.5	~わけではない (<i>wake dewanai</i>).....	42
3.6	~わけにはいかない (<i>wake ni wa ikanai</i>).....	49
3.7	~ないわけにはいかない (<i>~nai wake ni wa ikanai</i>).....	52
BAB IV	KESIMPULAN.....	56
	SINOPSIS.....	v
	DAFTAR PUSTAKA.....	xi
	LAMPIRAN.....	xiii
	RIWAYAT HIDUP PENULIS.....	lv